

シンポジウム

緒方洪庵

緒方洪庵自筆書

岡山蘭学の群像Ⅲ

日時 平成27年12月3日(木) 午後2時~4時30分

場所 山陽新聞社 さん太ホール (Tel 086-803-8222)

入場無料

緒方洪庵記念財団所蔵

百年先の日本を見据えた男

基調講演

「時代を拓く蘭学者——緒方洪庵」

堺女子短期大学名誉教授 浅井 允晶 (あさい のぶあき)

パネラー

除痘館記念資料室専門委員 古西 義麿 (こにし よしまろ)

大阪大学医学部医学史料室 米田 該典 (よねだ かいすけ)

主催●公益財団法人 山陽放送学術文化財団 共催●岡山日蘭協会

後援●岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、津山市、津山市教育委員会、香川県、香川県教育委員会、(公財)岡山県郷土文化財団、山陽新聞社



適塾

日本の近代医学の祖といわれた緒方洪庵(1810~1863)。大坂・江戸・長崎で学んだ後、大坂に適塾を開塾。西洋の最新医学を紹介した『扶氏経験遺訓(30巻)』などを翻訳し、実践的な近代医療の拡大に尽くした。そして致死率の高い



扶氏経験遺訓(30巻)

天然痘を予防するため牛痘による種痘を普及させる一方、コレラの大流行時には治療手引書「虎狼痢治準」を緊急出版して医師らに配布。今日の予防医学、公衆衛生につながる先駆的な活動を展開した。



福沢 諭吉

慶応義塾を創設、欧米文化を輸入



大村益次郎

維新十傑の一人、近代兵制を確立

洪庵は同時にみごとな教育者でもあった。適塾での教育の中心は蘭学の会読。全国から集まった塾生同士の競争も激しく、福沢諭吉は「この上に為ようはないというほどに勉強した」と述懐している。その談論風発の気風が明治維新の立役者となった福沢諭吉、大村益次郎、佐野常民、橋本左内らを育てた。



塾生大部屋



佐野 常民

博愛社を創設、初代日本赤十字社長



橋本 左内

幕政の改革、統一国体制樹立に奔走

シンポジウムでは、洪庵研究の第一人者・堺女子短期大学の浅井允晶名誉教授らを招き、「攘夷だ」、「開国だ」と国を二分した世情に浮かされることなく、自らの道貫徹した洪庵の思想、そして号であり塾の名前にもなった「適々齋」の今日的意義を問い直す。

画像提供：大阪大学適塾記念センター、長崎大学附属図書館、山口市歴史民俗博物館、福井市立郷土歴史博物館

出演者プロフィール



堺女子短期大学名誉教授

浅井 允晶 (あさいのぶあき)

大阪を中心とする洋学史研究の軸のひとり。専門は日本近世史、特に洋学史などの文化史。大阪府生まれ。文学博士。除痘館記念資料室専門委員。堺市博物館協議会会長。1970年奈良県立美術館創設に参画。堺女子短期大学教授など歴任。編著書に『論集日本の洋学』全五巻、『新修大阪市史』第四巻など、論文多数。



除痘館記念資料室専門委員

古西 義麿 (こにしよしまろ)

大阪の除痘館研究のエキスパート。専門は日本近世史、特に洋学史、医史学。兵庫県生まれ。文学博士。橋本まちかど博物館長。大阪市立此花図書館長など歴任。著書に『緒方洪庵と大阪の除痘館』『緒方郁蔵伝』など多数。



大阪大学医学部医学史料室

米田 該典 (よねだ かいすけ)

緒方洪庵と適塾研究の第一人者。専門は薬物学史、医学史。現在は医薬領域での歴史上の人物史を調査。兵庫県生まれ。薬学博士。除痘館記念資料室専門委員。大阪大学薬学部助教授など歴任。著書に『洪庵のくすり箱』『大阪大学医学伝習百年史』など、論文多数。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。この用紙のままFaxでお申し込みください。

10月30日(金)締切

お名前
(企業名)

ご住所

申込人数

※2名までとさせていただきます。

ご連絡先
(電話など)

fax 086-225-5046

優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。

◆e-mail nichiran@rsk.co.jp Tel 086-225-5531

◆ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団

希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。

お問い合わせは 公益財団法人 山陽放送学術文化財団【tel 086-225-5531】

第4回予定

岡山蘭学の群像Ⅳ テーマ：「箕作阮甫と幕末の外交」(仮)

平成28年4月18日(月) 山陽新聞社 さん太ホール